

アフリカ日本協議会 署名キャンペーン
後援：NGO・労働組合国際協働フォーラム

「人類の脅威」としてのエイズ・結核・マラリアを終わらせるため、日本政府の貢献を、今こそ、これまで以上にお願いします。



★皆さんの声が日本を、世界を動かします。ぜひご協力を！

<署名サイトへのリンク> [こちらから](#)
<携帯からも署名できます> QRコード⇒



私たちアフリカ日本協議会は、世界のエイズ・結核・マラリアを収束に向かわせるために、日本政府に対して、<今こそ、これまで以上に> グローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金）に貢献し、リーダーシップを発揮することを求める署名キャンペーンを開始しました。

グローバルファンドとは？

- ◎ グローバルファンド日本委員会「グローバルファンドの概要」⇒[こちら](#)
- ◎ グローバルファンド日本委員会 動画「世界三大感染症から命を守るグローバルファンド」⇒[こちら](#)
- ◎ 外務省「グローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金）」⇒[こちら](#)

世界のエイズ・結核・マラリア対策や保健システム強化に資金を供給する国際機関、グローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金）。これまで、世界の 140 以上の国々に資金を供給、6500 万人の命をエイズ・結核・マラリアから救ってきました。アフリカ日本協議会は、2002 年のグローバルファンドの発足時から、その取り組みをサポートしてきました。

今年はグローバルファンドの第 8 回目の資金集め（増資）の年です。目標金額は 3 年間で 180 億ドル（2 兆 5 千億円）。今年集まった資金は 2027-29 年の 3 年間で活用されますが、資金がフルに集まれば、エイズ・結核・マラリアによる年間死者数を現在の 230 万人から 92 万人に減らし、「地球規模の主要な公衆衛生上の脅威」としてのエイズ・結核・マラリアの終息に向けて道を切り開くことが可能です。

一方、米国を筆頭に、一部先進国は国際協力の資金を急減させています。このままでは、三大感染症を終わらせるどころか、2002 年以前の段階に戻ってしまいかねません。後退を防ぎ、前に進むためには、日本政府が他国と連携してリーダーシップを発揮することが必要です。

署名キャンペーンは、世界的な署名プラットフォーム「Change.org」にて、本格的には 4 月 26 日から 6 月いっぱいまでの 2 か月間を期間に行います。協力をして下さる皆さまの声が、日本を、世界を動かす力となります。ぜひ、署名活動にご協力ください。

<署名キャンペーン> [Change.org 「人類の脅威としてエイズ・結核・マラリアを終わらせるために、日本政府の貢献を、今こそ、これまで以上にお願いします」](#) リンク=[こちら](#)

※署名呼びかけ：（特活）アフリカ日本協議会
※後援：[NGO・労働組合国際協働フォーラム](#)

◎携帯電話からも署名できます。右の QR コードから署名サイトに移動してください。

